

平成29年度岐阜県高等学校家庭クラブ連盟年次大会 及び第68回研究発表

家庭クラブは、家庭科を学習している生徒が会員であり、本校では各クラス2名を選出し、計24名が家庭クラブ委員として活動しています。家庭科で学んだことを生かし、「創造・勤労・愛情・奉仕」を活動の柱とし、地域の特徴を生かした調査・研究・実践活動をしています。同じように岐阜県下の高校でも家庭クラブ活動が行われており、今回、第68回となる家庭クラブ研究発表大会が揖斐川町地域交流センターで実施されました。岐阜・西濃・中濃・東濃の4地区の代表校による研究発表があり、本校は岐阜地区発表校として、2年間の研究活動の取り組みを発表しました。

研究テーマを「異世代交流でみんなハッピー!!～私たちは地域のふれあいコーディネーター～」とし、生徒の実態調査・地域の現状調査から、問題を挙げ、全校生徒のコミュニケーション能力やボランティア意識の向上を目指し、交流活動を円滑に行うための能力開発や研究活動を行いました。具体的な取り組みは以下のようです。



地域、生徒の実態調査

- ① 地域の現状調査
 - ・年齢別人口割合
 - ・地域が求めている人材等
- ② 本校生徒実態調査
 - ・異世代交流の経験
 - ・ボランティア活動への興味
 - ・人とのコミュニケーション方法
 - ・普段の挨拶のしかた
- ③ デイサービスセンター利用者のアンケート実施
- ④ 施設交流を行った方々からの感想より課題の把握
- ⑤ 本校の挨拶運動後の挨拶自己チェック表集計と分析

交流活動を円滑に行うための能力開発

- ① コミュニケーション能力の向上
 - ・挨拶の質の向上
 - 挨拶運動強化、自己チェック表
 - ・自己紹介手段の研究
 - 巨大名刺、名札、絵手紙等
 - ・講演会・講習会の実施
 - ・アサーショングループワーク
- ② 交流内容の研究
 - <高齢者、岐阜本巣特別支援学校>
 - ・絵手紙うちわ・壁飾りの制作
 - ・マラカス体操・栄養強化お菓子
 - <保育園児>
 - ・リサイクルおもちゃの制作
- ③ ボランティア意識の向上
 - ・ボランティア活動PRの工夫

今までの研究活動について、
掲示やプレゼンテーションなど
で発表をすることができました。
最後に学校支援課の柴田先生より、「テーマに沿った一連の流れがよくわかり、様々な活動が実践されていた。また中間評価もあり客観的評価ができていた。今後は地域の課題に向けてどの



ような視点で解決していくかを考えて
いってほしい。」との講評をいただきました。
他校の先生方からは、「普通科でも
いろんな活動をしているので驚いた」
「掲示の見せ方が上手。参考にしたい。」
「マラカス体操を是非うちでもやっ
てみたい。」などの感想をいただきました。
審査結果として、優秀賞をいただく
ことができました。今後も地域とのつな
がり大切に、積極的な活動を行っ
ていきたいと思ひます。